

議題14

区分	■ 新規 □ 再提案 (. . . 第 回総会 ; 市)		
種類	<input checked="" type="checkbox"/> 現行制度の改善又は拡充を求めるもの <input type="checkbox"/> 新たな施策の要望又は提案を求めるもの <input type="checkbox"/> 特に市町村への財政支援策等を求めるもの <input type="checkbox"/> その他 ()	分野	<input type="checkbox"/> 総務文教 <input type="checkbox"/> 社会環境 <input checked="" type="checkbox"/> 経済 <input type="checkbox"/> 危機管理建設
要望先	<input checked="" type="checkbox"/> 国	担当省庁	農林水産省
	<input type="checkbox"/> 県	担当部局課室	農政部 園芸畜産課 農業技術課
	<input type="checkbox"/> その他	名称	
件名	防霜ファン設置への補助要件の緩和と、新たな凍霜害対策に対する支援について		
提案市	長野市・須坂市・中野市		
提案要旨	<p>果樹経営支援対策事業における整備事業の特認事業「防霜ファン設置」に対する補助要件を、農業振興地域内農用地区域内農地及び区域外農地の双方を対象とするよう要望する。</p> <p>また、防霜ファンに代わる凍霜害対策として、スマート農業技術を活用した対策や、新たな燃焼資材等の開発・研究に対する支援とともに、防霜ファン以外の対策を行う農家への支援を要望する。</p>		
提案理由	<p>凍霜害対策には防霜ファンの設置が有効であるが、設置面積の要件から補助の対象にならず、設置を諦めてしまう農家も多いため、農業振興地域内農用地区域内外双方の農地を原則補助対象とすることで、凍霜害による被害を少しでも軽減し、農家の営農意欲を維持し、離農者の抑制を図ることができる。</p> <p>また、防霜ファン以外の凍霜害対策について、IT技術を活用した、霜予測の精度向上や、夜間の継続的な作業を必要としない燃焼機材の導入、凍結防止剤の散布など、様々な対策方法を選択できるようにすることで、それぞれの農家の実情にあった凍霜害対策が可能となるため、これら開発や導入に対する新たな補助メニューの創設を要望する。</p>		
現況及び課題等	<p>本市の果樹農家は中小規模が多く、白地で果樹経営を行っている農家もいることから、要件が満たせず補助が受けられないことで、防霜ファンの設置ができず、被害に遭ってしまう農家も少なくない。</p> <p>また、費用負担やほ場の形状などから燃焼法等防霜ファン以外の対策を取る方も多いが、夜間作業になるなど、農家の負担は大きくなっており、少ない費用負担、少ない労働力で対策できる技術、資材、機具を望む声が多いところである。</p> <p>※令和5年凍霜害被害面積 156.6 ha、被害金額 138,816千円</p>		
関係法令	果樹農業振興特別措置法		

提案市の担当部署 農林部農業政策課.....担当者 村田 和好 電話 026-224-7274...